観光業界特別座談会 **「関西発!アフターコロナに向けた観光創生」**

万様生かし「KANSA

再生するかを考える機会だ

観光、交通、経済界を含め、 危機への共通認識がある。

横の連携深め「関西MaaS」

実

ド」を新たな切り口

「これぞ関西」伝える上質な旅提案

が足元を固め、

今後どう

力を尽くさなければならな

特に維持することに全

再生するかが課題であ

。幸い業界にはこうした

トにあるが、

まずはどう維

年の

~6月は昨年1

人をに

支援·

需要喚起策

東井

鉄道を見ると、

今

は大いに感じている。

あり、V字回復への可能性が豊富かつ魅力的な地域で

登録されるなど、観光は上 手法を考えていきたい。古市古墳群」が世界遺産に れも一歩先を見据えた応援功裏に終わり、「百舌鳥・ 活への芽は出始め、われわ

だきたい。われわれは観光道に取り組みを進めていた

の課題である。そこでわれ

広域観光の原点で

でも何か貢献した。

ているが、

関西は観光資源

私は関西に7月から着任 と前向きに捉えてほしい。



が中心となり検討して つなぎ合わせる役割として が痛んでいるが、それらを る。今は観光と交通の両方

もしっ 今後実現に向けて関係者といる。われわれとしても、 MaaSは有効だと考えて かり議論していきた

分かった。

われわれはイン

需要も大きいことが改めて が関西に興味を持ち、 >を稼いだ。多くの外国人 に、それぞれが500万P

潜在

バウンド専門DM

Oだが、

現下の状況に鑑み、日本人

で、京昭、 あると言われた。一つと、 あると言われた。一つと、 を手がピークだった \mathbf{m} 西唯一」を伝える を立ち上げた。食、宿、14m関西」というサ 「これぞ関西」「関 \overline{P} 寉

近畿運輸品

同長

げなければならない。まずルを底上げすることにつな

着させ、地域のポテンシャ

昭彦氏

乗り越えてターゲットとしどうかだ。25年はコロナを

は足元を見て変えられるか

乗り越えてター

ていくのに良い目標だ。

本社・長木利通。(9月8日に大阪の近畿経済産業局で)ドする3氏に集まっていただき、語っていただいた。司会エリアにおける観光分野での取り組みについて、業界を出地域活性化への取り組みなどが進められている。今後の関 観光業界の現状 ん 光インファう…… かれが今できることは、観りれが今できることは、観り とに慣れてきた。コロナの 収束時期は予測できな インバウンドを含め、 できた。 年後にはコロナ禍で一転、昇ムードだった。それが半 た。その中で、

復に希望がある。もう一 り 非常に多いとのデー 本を訪れたい外国人の声が 支援について、必ず先に希 浸透し、近場での魅力探し 望はあると信じて取り組 インバウンド需要が蒸発し た希望がある。もう一つ
ポストコロナの∨字回 マイクロツー コロナ収束後に日 事業の継続 **-リズムが** -タもあ

が行われたこともチャンス な選択肢となる可能性が大 力発掘が個人旅行客の新た 身近な風景や体験の さまざまな復 で、記号りで、見号の魅り など、先を見据えながら地 で、足元の価値を見直し、 素材を磨き上げ、PRする える必要がある。関西の魅め、観光の再生について考

年の4月~6月の実績では

10%程度に減少してい

観光業界は厳しい状況

を楽しんでいた。 G20が成

きくなった。

であふれ、多くが食べ歩き黒門市場を訪れた。外国人

言の発令などの影響で、

国内旅行消費も全国比で約

ことだと思う。

れ体制を整えていくという

ウンド需要が消滅した。

コロナ禍でこのイン

10%あったが、

緊急事態宣

, [†] 日 ・米 ・村 ħ

大阪の台所と言われる

だ。

2年前の初登庁前

う捉えているか。 の回復が遅れて

コロナ禍で観光業界

いるが、ど

中で訪日外国人の旅行消費

国比で約15%であり、その

関西のGDPは全

は全国の約23%を占めて

行動変容の状況を把握し て、インバウンドの受け入

るきらいがあり、 花的な訴求につながって 光資源があるが、それが総 関西にはぜいたくなほど観 それが加速しつつあった。 割がこの2カ所に集中 広域観光

(現·経済産業省 中小企業政策統括調整官) 前·近畿経済産業局

な旅行を提案している

ービス、

キャンペーンなど、各種支援メニューが用意され、な中、政府の方針を受けて各省庁からはGo Taュロナ禍で観光業界は大きく影響を受けている。

トラベル そのよう

を用意している。宿泊業、策の中でさまざまな補助金 業を残すためにも、 来るとは限らない。今後事回復期には他へ移り戻って 援を継続すること。例えば、 来るとは限らない。 居さん退職させると、 旅館の事業が苦しくなり仲 産業政 需要 て

今一番大事に 事業者へ の支 補助金や、

は全体で300人だが、 の中で頑張る人が使えるも ビジネス枠の小規模事業者 がいろいろな分野でPR のがある。経産局の職員数 持続化補助金など、コロナ 少なくとも、施策を知



れわれも何ができるかを考 面白い取り組みであり、 進の話もその一つ。非常に 身の得意分野だけでなく、 出するという視点を持つ地の価値を他地域や海外に輸 かという視点を持ってもら 全体でどう関西の魅力を高 西の価値を高めるには、 内外にも広まるだろう。 められた思いが伝わり、国域に観光客が訪れると、込 る。運輸局は観光、物流を いたい。地域ブランドの推 め、経済を回復させていく 扱うが、観光や地域の魅力 る。 ては、今後はマスマ ドづくりではスト トではなく、スモールマス として地域のブラン 西の多彩で豊富な魅力を表 れば、多彩な色を発し、関 れる商品、サービスを束ね モールマスを狙って、生まの時代になる。徹底的にス いる。もう一つ、地域ブラン 現することになると考えて できることがあると考え り、そこにわれわれが支援 り手は発信手法に悩んでお ケティングが大切だ。例 マーケティングに関し ケッ

る意味をかみしめたい。

の最大のイベントと言って

ョンの祭典だ。オリパラ後

はそういう在り方ができる ながる。少なくとも関西に 世界に評価されることにつ

わせてもらいたい。それが

博を意識したい。万博は何

「さま

夢

素地ある。各地域で生まれ

つなぎ、そして世界に発信 洲という1点に集約させ、 ざまな未来を引き寄せ、 かと考えたときに、

た観光素材が機能すると関

博を意識することで、さま する装置」と捉えたい。

良い。これが関西で行われ

台湾とのオンライン大商談ードとなる。今年1月には ストー ガネを作り、売るのかなど、 えば、なぜ福井の鯖江でメ 会を開催したが、両者で1 る。スモールマス&スト しい新境地、誘客のキー ンバウンド作りのための新 の二つが次の関西のイ リーには訴求力があ

共有できるはずだ。 **ち輝く未来社会のデザイ** を作るか。テーマは「いの 3年半となるが、万博に向 方がある。10月28日まで申 用などいろいろな参加の仕レストラン出店、ロゴの使 ら深遠なものだ。コロナを ン」という身近でありなが で参考にしてほしい。あとし込めば動画が見られるの するかけがえのない体験が いのちの本質に肉薄 皆でどう盛り上がり

> 東井 氏

状況にある。 東井

も観光について けでなく各国と 光の最前線は大 は非常に厳しい 日本だ 観

コロナの中でオリ

ワクチンの接種が進み、少策をしっかり届けていく。 らうこと。そこに向けた政とはコロナを乗り切っても る。今の時間を生かし、地西全体の経済にも裨益す 後必ずV字回復の局面が訪 れる。インバウンド関連の 域の掘り下げをしてもらい し明かりが見え始めた。今 目下一番大事なこ さまざまなつながりを生み る。自治体、地域、企業、ざまなつながりが生まれ ながり強化だ。 イノベーション、ブランド、

り上げる技術的な協力や 参加、テーマ館を一緒に作 ン出展以外にも、イベント 明会で示された。パビリオ 博覧会協会のオンライン説 加するオプションが8月の

米 村

実証を兼ねた物品提供や、

連携を深めていきたい。 出したい。重要と思うのが、 産業を創出する意気込みで 進化と実装に向け、新たな 観光とデジタル事業者のつ 「夢洲」の盛況だけではな 博の大成功と言 日本が大きく変 広がって、関西、 く、つながりが わってこそ、万 観光DXの

えるに違いな

れているが、国変なご苦労をさ 内観光は戻りも

観光DXの進化・実装へ連携深化 米村 氏 観光素材にストーリー性と戦略を 「ONE KASAI」で万博へまい進

きたい。 向けて進んでい で万博に 方、インバウン早いと思う。他 N E 観光セクターに ざまな方々の参 運醸成活動を行 の間、地域の方 アップされてい 画を得て、 るのでそれまで ド需要はペント 止まらず、さま っていきたい。 同けて準備と機 々と共に再開に ō

EXP0 2025 飲食店が使えるもの いることは、 米村 地域ブ

化を推進している。 ドの支援を通じた地域活性 「観光とは何だろう」 -関西では地域で 観光庁在籍

んでくって、喜んでくって、これを感じに来てもらって、喜んでくって、 域の皆にフィ こと」だと思い至った。 え、「地域の誇りを取り戻す れ、やる気が増すという「好 分のいる場所で良いものを んでくれて、その反応が地 ードバックさ と考 う。例えば、 ブランドという面では今治 市には泉州タオルがある。

を紹介

まさに産業の、イノベーシを紹介したりした。万博は、 からも義肢を作る企業など 特集ページを作成し、関西

考え方をベースに、経 循環の起点」が観光だ。 東井 金井 米村 いと「地に経産局 氏 H F に奇麗な水を使い な進歩があった。泉州タオ もあるようだが、最近大き 間のコラボも意識して地域 うかの課題に取り組んでい ブランドコンセプトに決 だわり抜いたタオルなの 後晒し製法を使うなど、こ ルの泉は白に水と書くよう に一歩後れを取っていた感 め、良さをどう知ってもら っさらに、 「水と生きるタオル」を 12ブランドの 製法は

域ブランドプロジェクト」 を始めた。現在は12の地域・ いる。 を意識しながら、地域発の まな可能性を考えていきた などの力を借りて、 部、他に財務局、国税局、農 なく、運輸局や関西観光本 い。そして、その先の万博 ンも設けた。経産局だけで ブランドネットワークサロ 金融機関、交通事業者 さまざ である。 えていく。 東井

えられ、人の移動の大切さ、金井 コロナで人流が抑 ニーズ、価値が高まってい コロナで人流が抑 い」と言われている。地域れば観光を進める意味はな る。われわれは現在、万博にの光を観るということであ ブランドプロジェクトもそ 地域の幸せにつながらなけ デザインを検討している が、有識者からは「最後は 向けた関西観光のグランド る「国の光を観る」は、地域 観光の語源とされ 観光の原点は地域

へともつながっている。 多く、そこからテーマ観光 ブランドに関心がある人も 40社が集まり、5日間で 1千商談が行われた。 地域

の脈絡で考えると観光と一 体と考える。商品をはじめ 関西万博

考える。ウィズコロナ時代

世界に発信したと

インバウンドもワク

ロールができる国だという を遂行した。日本はコント パラという大規模イベント

く。この1年半で、ウィズ定の人が訪れていると聞

ど大都市への戻りは少な

金井

今は足元を見つめ

安全性を高めてもらい がら、感染防止対策を進め、 しっかり使っていただきな 事業などの支援メニュー の再生・高付加価値化推進 益力を高める既存観光拠点

ワクチン接種証明の活

のサー

ビスを組み合わせな

向けて観光、

交通、その他

NSAI」と名付け、

ウェ K A

E X C I

N G

催される大阪・関西万博に 025年に大阪・夢洲で開

がら新しい観光を作

り上

観光から全体を盛り上

ジオフィックトラベラー」 の高級旅行誌「ナショナルブ等で発信するほか、海外

に掲載するなど認知度向上

一方、伊勢志摩や南紀

ると、大阪、京都、神戸な

要喚起策は。 支援、

を

S」の形でまとめあげ、 を深めながら「関西Maa

2

当てたテーマ観光も増えつ

儀があるが、

型を押し

済社会を成り立たせて

物流は動き、

やアクティビティに焦点を

つある。これらを「THE

ており、関西でも横の連携aSへの機運が高まってき

形成してきた。また、・リーとともに8本のル

文化

ャルを持ち、

てもらった。ブートの名気がある

世界に羽ばたけるポテ 商品を選んで動いて

シシ

新たな切り口としたい

ランド支援にはいろん

北国路などテーマやスト 携しながら、大熊野古道、

につながる。昨今は、

なぐことが、

利便性の向上

が、この二つをしっかりつ と交通の両方を所管する

あるルー

ト作りに取り組

み、関西各地のDMOと連

生活をしている。

観光を見

また今後予定する需 現在行う取り組みや

がウィズコロナに慣れ、 比べ回復傾向にある。

防

疫措置を取りながら日々の

ビス提供側が学び、

題である。

地域観光事業支

となり得る。いずれにせよ、 が、これも一つの有効手段 用が今後議論となってくる

げていきたい。

剤となりそうだ。

現在は鉄道事業者

ン3分動画を2本公開し 外向けの関西プロモー 信ではもう一つ、

カ月もたたないうち

関西MaaSは起爆

に取り組んでいる。

情報発

・昨年に海

ショ

を徹底することが喫緊の課 るが、まずは感染防止対策 メニューを多数用意して 観光庁では観光関連の支援 直す時期だと考えている。

コロナでの観光の形をサ

博が2025年に開かれるされた。次に大阪・関西万分階され、世界に日本が発信・ る。 ック・パラリンピックが開 今後の取り組みは。 今夏は東京オリンピ のためにも、関西の魅力の でいきたい。これまで主要 な観光地でない地域も含め 再確認、磨き上げをし、 -を持って取り組ん

ることが大事。関西の観光 力し、何ができるかを考え に関西全体がどのように協 インフラとして定 万博をターゲット ができている。万博があるろって取り組んでいく素地 便性を高めることを官民そ 観光と交通を結びつけ、利 広がりにつなげたい。 た磨き上げを通じ、 テクノロジーを使 観光の 関西 では、 チン接種証明書の活用など

金井

共に取り組んでいく。 ことはチャンスであり、 は象徴としても良いことで 博に向けて一丸となること ある。われわれも旗を振り、 は、万博をいったい。 的に連携する「ONE るためには関西全体とし 在日数を1日増やすだけで ANSAI」で取り組んで 同じ方向に向かって、自発 て、推進力が必要だ。皆が 増える。消費拡大を実現す も観光消費は2200億円 らない。インバウンドの滞 西経済の柱にしなければな 観光消費を上げ、観光を関 考える。次の万博を契機に、 日本は的確に対処できると が論点となるであろうが 万博を関西の万博で終こたい。さらに、経済界

、低感染リスク型ビス、IT関連の 関西観光本部代表理事/専務理事 東井 芳隆氏



支える中小企業を紹介する であり、 い。経産省でもオリパラをを内外に示した面も大き ツの祭典だが、日本の魅力 交省ではこれまで全国各地 者の流れをある程度統一的 きな可能性がある。 きな枠組みでの実証が必要 支援してきたが、 にコントロー でのMaaSの実証実験を ントすることができる。国 関西MaaSは大 マネジメ

今後は大 人たちにメッセー

観光業界に 最後に、観光業界の メッ

メニューをしっかり作り、 われわれは、支援 -ジを。 ップアワー する「はなやか関西魅力ア ベストプラクティスを表彰 ド」という取り

セージ

性を持たせ、戦略を組み合 元の観光素材にスト く。地域の人たちには、足 という考え方を示してい 何を目指してどう進むのか 手伝いをしたい。これも万 こそ頑張っている人たちを でも、 見つけ出し、それを全国、 全世界に向けて発信するお 組みがあるが、 いや、 コロナだから コロナの中

北陸新幹線敦賀開業、うめ めていきたい。

) いる。砂鉄の1粒1粒を集神益 するべく議論を始めて W 術革新かもしれない。連携 a Sなどシンボリックな技 a 石は万博だけでなく、M a イ めるのは大変だが、磁石が 間も、文化庁の京都移転、 が鍵である。万博までの期 一つあれば集まる。その磁 ことが大事だ。万博をジャ続して力強く発信していく 連携して大きく、そして連く。一つ一つをつなげて、 イメージして、 関西には耳目をひくプロジきた2期の一部開業など、 AI」の認知を世界的に高 ンプ台として飛躍する姿を ェクトが多く、追い風が吹 K A N S

基盤を用いることで、来場は、MaaSなどのデータ

金井

アクセスについて

い。どう回すかがカギだ。0年時は多分回っていな

なければならない。

が夢洲に訪れる。

東井

会場から人を回さ

催されれば約2820万人